

# 出版情報登録センター 「データ仕様」変更説明会

---

2015/01/15

出版情報登録センター(JPRO)  
書誌項目・技術部会／JPRO事務局

## はじめに

### ◆ 本説明会の目的

「出版情報登録センター」(JPRO)の新しい「データ仕様 第3版」と「入力項目表」の変更内容の紹介と説明

### ◆ 対象者

主に、ONIX仕様ファイルにより「近刊書誌情報」の送受信を行っている「出版情報登録センター」利用各社(出版社、支援事業者、書店、取次会社)のシステム(技術)担当者の方

※新しい「データ仕様」と「入力項目表」は、JPROポータルサイトの「資料一覧」

<https://jpro.jpo.or.jp/handout/list>

のリストに掲載済みです。また、本説明会の詳細資料につきましても、後日同リストに掲載致します。

# 説明の流れ

---

## 概要

JPROにおける「出版情報」の取扱い ～ 「データ仕様」の位置付け  
新しい「データ仕様」と「入力項目」 ～ 「変更点」等のサマリー

## 詳細説明

データ仕様の変更 ～ 各変更点の説明と入力例

## 参考

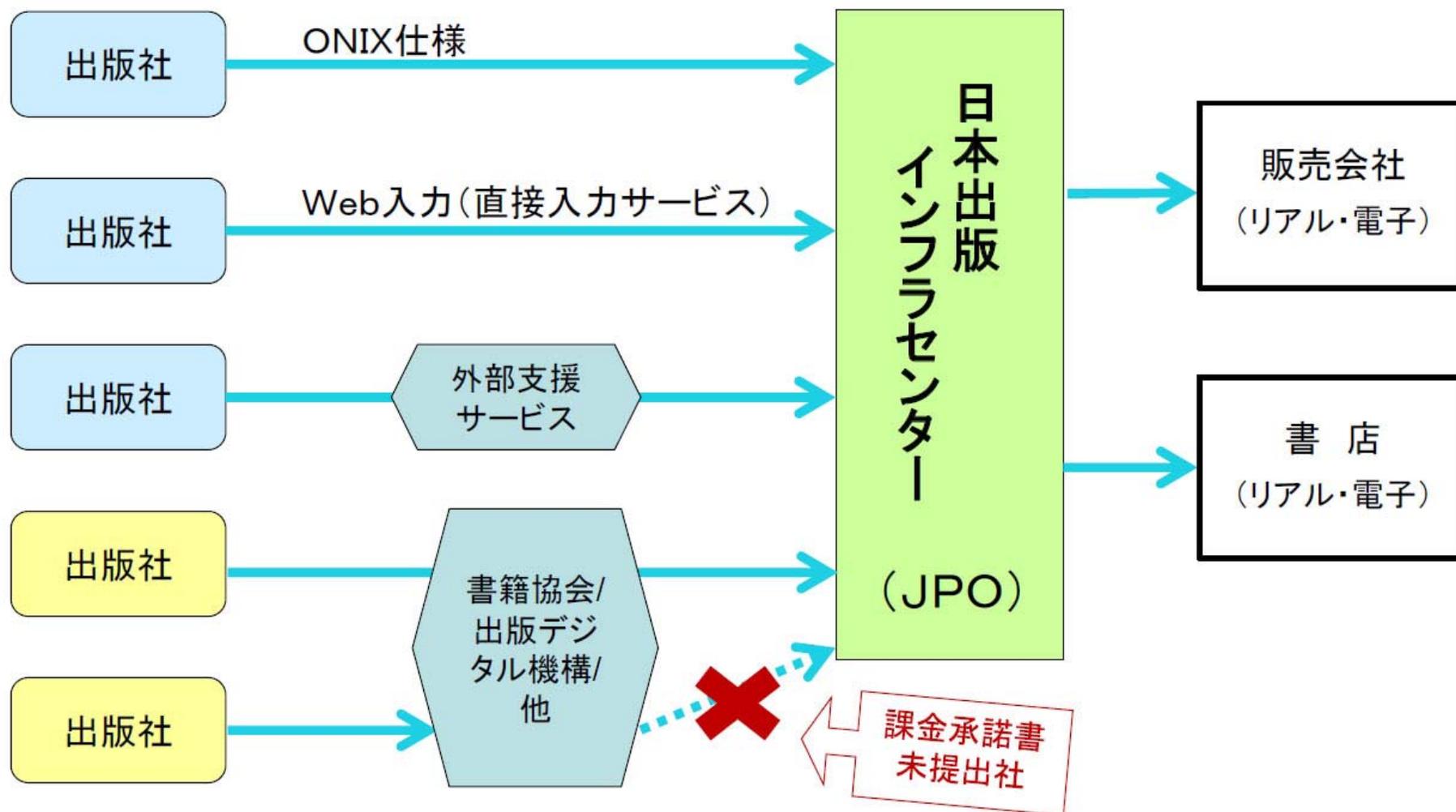
JPRO「出版情報」への国立国会図書館「全国書誌番号」の追加

# 概要 ～JPROにおける「出版情報」の取扱い

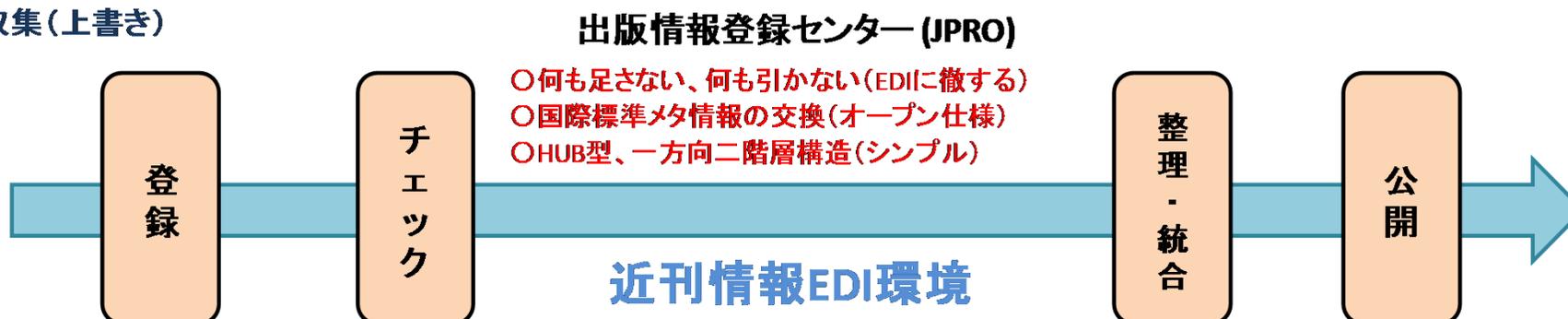
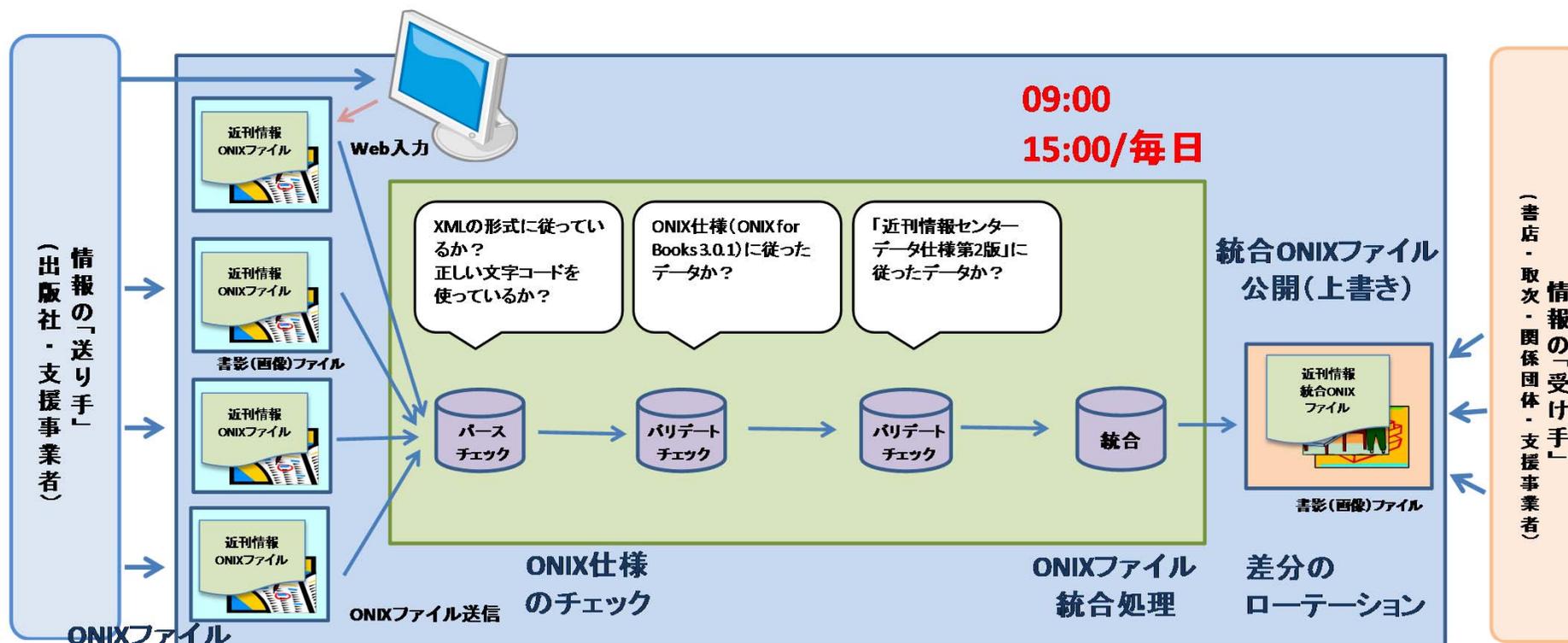
---



## 出版情報登録センター(JPRO)における「出版情報」の取扱いについて



## 出版情報登録センター(JPRO) 近刊情報EDI機能



## 出版情報登録センター(JPRO)における「出版情報」の取扱いについて

### ■従来の「近刊情報センター」の登録スタイル

#### 「近刊書誌情報」の登録

「基本書誌情報」+「書誌詳細情報」の一括登録



### ■「出版情報登録センター」の登録スタイル

#### ①「基本書誌情報」の登録

#### ②「基本書誌情報」に紐付いた、各「出版情報」の登録

- ・「書誌詳細情報」
- ・「出版権情報」
- ・「販促情報」

「出版情報」

## 出版情報登録センター(JPRO)における「出版情報」の取扱いについて

平成28年(2016年)1月15日10:00現在

基本書誌情報 登録数 **783,806** 件

紙の書籍 645,155件 うち、282,644件は書誌詳細情報まで登録

電子書籍 138,651件

The screenshot shows the JPRO website homepage. At the top, the logo "jpro" is displayed in orange, with "JPO出版情報登録センター" below it. A navigation menu includes "HOME", "ABOUT US", "登録・編集", "出版権検索", "お知らせ", "よくある質問", "お問い合わせ", and "ご利用方法". The main content area features a banner with the text "出版新時代" and a central white box containing the following statistics:

- 基本書誌情報 登録数 : 783,806 件
- 書籍 登録数 : 645,155 件  
(うち、書誌詳細 登録数 : 282,644 件)
- 電子書籍 登録数 : 138,651 件

Below the statistics, the date "2016/01/15 10:00 現在" is shown. At the bottom of the banner, there is a pink ribbon icon and the text "ようこそ jpro へ 新規利用をお考えの方へ ※申請書ご郵送済みの方へ".

「出版情報登録センター」ポータルサイト  
<https://jpro.jpo.or.jp/>



## 紙の書誌情報(基本書誌情報、書誌詳細情報)の登録

登録区分	登録方法	登録可能な書誌情報	注
ファイル送信	ONIX仕様(EDItEUR ONIX for Books 3.01版)ファイルによる登録 (「出版情報登録センター データ仕様第3版」)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「基本書誌情報」(エントリーポイント)の登録 (「近刊」または「既刊」)</li> <li>・「書誌詳細情報」の登録 (「近刊」または「既刊」)</li> </ul>	※「既刊」の場合は、「発売予定日」に「発売日」を記入する。 ※センターでの「近刊」と「既刊」の区別は、該当書誌情報がセンターへ登録された「登録日」とその「発売予定日」との比較によって行う。「発売予定日」から8日目までに登録された書誌情報は、「近刊」扱い⇒「受け手」へ公開する。 ※「既刊」と「近刊」の書誌情報は、1つのONIXファイル(onixfile.xml)に混在させることができる。
	著作権情報仕様ファイルによる登録 (XML仕様または暫定CSV仕様)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「基本書誌情報」(エントリーポイント)の登録 (「近刊」または「既刊」)</li> </ul>	
Web入力	センターにログインし、「基本書誌情報」(5項目)を登録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書誌詳細情報」の登録 (「近刊」または「既刊」)</li> </ul>	※「近刊情報センター」当時の「Web入力」のように、「書誌詳細情報」を一括して登録するのではなく、まず「基本書誌情報」を登録することで、「書誌詳細情報」や「著作権情報」、「販促情報」を登録できるようになる。
	センターにログインし、「書誌詳細情報」を登録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「基本書誌情報」(エントリーポイント)の登録 (「近刊」または「既刊」)</li> </ul>	

## 各「出版情報」登録用ファイルと仕様一覧

出版情報	媒体	形式	仕様	文字コード	項目数	ファイル名	状況	送信先	取込み
近刊情報/ 既刊情報	紙	XML (ONIX for Books 3.0系)	①	UTF-8	52	onixfile.xml	利用可	ftp://kinkan.jpo.or.jp/ https://kinkan.jpo.or.jp/	09:00 15:00
出版権情報	紙	CSV(独自仕様)	②	UTF-8 / Shift-JIS	12	pubrights.csv	利用可	ftp://kinkan.jpo.or.jp/ https://kinkan.jpo.or.jp/	09:00 15:00
	電子					digipubrights.csv	利用可		
	紙	XML(ONIX for Books + 独自仕様)	③	UTF-8	12	pubrights.xml	2016/02から 利用可		
	電子					digipubrights.xml	2016/02から 利用可		
販売促進情報	紙	CSV(独自仕様)	④	UTF-8 / Shift-JIS	22	promotion.csv	利用可	ftp://kinkan.jpo.or.jp/promotion/ https://kinkan.jpo.or.jp/promotion/	毎時 30分
	電子						利用可		
	紙	XML(独自仕様)	⑤	UTF-8	22	promotion.xml	2016/02から 利用可		
	電子						2016/02から 利用可		

### データ仕様 一覧

仕様	内容	ファイル名	最新版
①	紙の近刊/既刊「データ仕様」、「入力項目表」	JPO「出版情報登録センター データ仕様第3版」20151228版.xlsx JPO「出版情報登録センター 入力項目表【「データ仕様 第3版」準拠】20151228版.xlsx	2015/ 12/28版
②	「出版権情報」 CSVデータ仕様	JPRO_PublicationRightsMessage_CSV_Format_Specification20151006.xlsx	2015/ 10/06版
③	「出版権情報」 XMLデータ仕様	JPRO_PublicationRightsMessage_XML_Format_Specification20151006.xlsx	2015/ 10/06版
④	「販売促進情報」 CSVデータ仕様	JPRO_PromotionMessage_CSV_Format_Specification20151006.xlsx	2015/ 10/06版
⑤	「販売促進情報」 XMLデータ仕様	JPRO_PromotionMessage_XML_Format_Specification20151006.xlsx	2015/ 10/06版

## 各「出版情報」登録用ファイルと仕様一覧

※各ファイルの送信には、FTP、またはFTPで送受信するデータをSSLまたはTLSで暗号化するFTPS、のいずれかの転送プロトコルを利用することができます。

※ 各ファイルのデータ仕様については、「JPROポータル」の「資料一覧」(<https://jpro.jpo.or.jp/handout/list>)に掲載中の各ファイル仕様をご参照下さい。

※ 販促材料ファイルについては、「販売促進情報」と同じ送信先に送付して下さい。

# 概要

## ～新しい「データ仕様」と「入力項目」

---



## 新しい「データ仕様 第3版」と「入力項目表」の公開

2016/01/05(火)

以下の新しい「データ仕様」と「入力項目表」を公開しました。

- ◆ JPO「出版情報登録センター データ仕様第3版」20151228版
- ◆ JPO「出版情報登録センター 入力項目表  
【「データ仕様 第3版」準拠】20151228版」

## 新しい「データ仕様 第3版」と「入力項目表」の公開

※今回の「データ仕様」と「入力項目表」の改訂は、

- ・運用面の改善要望

- ・「出版情報登録センター」としての今後の対応要件

を満たすべく、**現行の**

◆ JPO 近刊情報センター「データ仕様第2版」20130726版

◆ JPO 近刊情報センター「JPO近刊情報センター入力項目表  
【「データ仕様 第2版」準拠】」20130204版

の各仕様について、データの項目・フォーマットを**一部見直すもの**です。

## 新しいデータ仕様(変更する仕様)

### ○JPO「出版情報登録センター データ仕様第3版」20151228版

- ① 「著者なし」時の<NoContributor>の使用:  
「著者なし」であることの明記。
- ② 「著者略歴」(BiographicalNote)の表記方法の変更:  
「内容紹介」の書式に合わせる。
- ③ 取得しているすべての「ISBN出版者記号」と「取引コード」の記載:  
「出版者記号」の複次記号もすべて記載する。
- ④ 「これから出る本」用項目の追加:
  - 1)「著者表示」(全角17文字以内)、
  - 2)「分類」(半角数字4桁)、
  - 3)「読者対象」(半角数字2桁)、
  - 4)「内容紹介」(全角63文字以内)、
  - 5)「これ本掲載時期」(半角数字8桁)を、セミコロンで区切って1つの文字列として表記。

## 新しいデータ仕様(変更する仕様)

○JPO「出版情報登録センター データ仕様第3版」20151228版

⑤ **表記の訂正**: データ仕様における誤記や曖昧な表記等の修正。

### ■センターとしての今後の対応のために

⑥ **「再販・非再販」項目の明記と「時限再販」項目の追加**:

再販商品、非再販商品の明確な表記と、切替時期の明記。

⑦ **「税の種類」と「税率」項目の追加**:

軽減税率表記にも対応可能とし、税の種別、税率を記載できるようにする。

⑧ **「出版社による内容確定フラグ」項目の追加**: 出版社による書誌内容確定を明記できるようにする(2週間前まで)。

## 新しいデータ仕様(変更する仕様)

○JPO「出版情報登録センター 入力項目表  
【「データ仕様 第3版」準拠】20151228版

- ① 全50項目→全52項目へ。
- ② 「51.内容紹介3」の追加
- ③ 「52.税(税率)」の追加
- ④ 説明表記の一部見直し

## ○JPO「出版情報登録センター 新しい「入力項目表」 【「データ仕様 第3版」準拠】20151228版

・全52項目

・網掛けは必須21項目(内デフォルト設定5)

NO.	項目	内容・フォーマット他	入力ガイドライン
1	ISBN	ハイフン無し 13桁半角数字	全ての項目の基本キー、変更不可。取消した場合も原則再利用はできません。
2	取引コード	4ケタ	
3	発行元出版社		社名、ISBN出版者記号、取引コード。
4	発売元出版社	発行元と違う場合のみ記入。	
5	部署		登録商品に対する問合せ先。(項目5～9)
6	担当者名		対応専用部署がある場合は、担当者名はなくても可とする。
7	電話	99-9999-9999	市外局番よりハイフン有り。 IP電話050対応。
8	FAX	99-9999-9999	市外局番よりハイフン有り。
9	E-mail		
10	Cコード	4ケタ半角数字	
11	ジャンルコード	取次広報誌ジャンルコードに準ずる。	CVS専用のコミックス(廉価版)の場合は、必ずジャンルコードを入力。
12	書名	刊行前は全て仮という認識を共有した上で、仮題表記については出版社の判断。	「新版」「新装版」「全8巻セット」等はタイトルに含む。
13	書名 読み	全角カタカナ	数値や外国語もカナ読みに変えて入力。
14	サブタイトル		
15	サブタイトル 読み	全角カタカナ	数値や外国語もカナ読みに変えて入力。
16	レーベル		新潮文庫、岩波ジュニア新書、とんぼの本等シリーズよりも大きなくくり。
17	レーベル 読み	全角カタカナ	数値や外国語もカナ読みに変えて入力。
18	シリーズ名		
19	シリーズ名 読み	全角カタカナ	数値や外国語もカナ読みに変えて入力。
20	シリーズ巻次	任意の英数文字使用可。	上巻、I、II、1、2nd、上、下、天、地等。
21	配本回数	第〇回配本	全集ものなどの配本回数
22	セット商品分売可否	1、単品分売不可(デフォルト) 2、セット商品分売可 3、セット商品分売不可	1冊ものは分売不可です。

## ○JPO「出版情報登録センター 新しい「入力項目表」 【「データ仕様 第3版」準拠】20151228版

【続き】

24	著者名1 読み	全角カタカナ 姓と名の間は半角スペース。	キュウ エイカン、ジョナサン ディ モレロ
25	著者名1 区分	著、編、訳、監修等。	「監訳」などは「監修」「翻訳」の両方をセット。 区分コードがないものは「著・文・その他」とし、内容紹介や著者略歴で補足。
26	著者略歴(紹介) 1	500字以内。	住所、電話、メールアドレス等変更の可能性のあるものは不可。 大学生協連への情報提供の場合は著者の大学名を記入。
-	著者名2		
-	著者名2 読み	全角カタカナ。	
-	著者名2 区分	著、編、訳、監修等。	
-	著者略歴(紹介) 2		
-	↓		
27	判型	取次広報誌分類に準じ、コード付けをする。但し新書(B40)、文庫(A6)とし、ハガキははずす。分類外の「その他」「未定」を追加。	
28	判型(実寸)	「その他コード」をつけた場合必須。 タテ( )mm ヨコ( )mm	縦横サイズのみ。
29	ページ数	数字のみカンマ不要。	
30	本体価格	数字のみカンマ不要。	予価の場合高めに設定を推奨。
52	税(税率)	税率のタイプ(標準/軽減)、税率(%)。	
31	特価本体価格		
32	特価期限	yyyymmdd	
33	発売予定日	yyyymmdd 20101208 未確定の場合も予定日を入力。 上・中・下旬は不可。	書店、読者にとって大変重要なので、こまめなメンテナンスを。発売予定日8日を過ぎたものはエラー扱いとなり、書店・取次に送信されない。 取次搬入予定日+2日(日祝除く)を推奨。
34	発売協定日	yyyymmdd	発売協定日があればこちらにも入力(発売予定日と同日付)。
35	注文・申込締切	yyyymmdd事前注文受付締切日。	設定されていなければ事前注文不可。予約活動のためには必ず入力のこと。
36	発売情報解禁日	yyyymmdd	指定しなければ縛りはなし。「送り手」(出版社)が「受け手」(書店・取次会社等)に対して、情報の公開を指定日以降として頂く旨を伝えるための項目。
37	通貨単位	YEN固定	ONIXが世界標準のため必須。将来海外に販路を広げる時にも必要。
38	言語設定	jpn(日本語、デフォルト) eng(英語) chi(中国語) 他コードリスト参照。	複数OK。

## ○JPO「出版情報登録センター 新しい「入力項目表」 【「データ仕様 第3版」準拠】20151228版

【続き】

38	言語設定	jpn(日本語、デフォルト) eng(英語) chi(中国語) 他コードリスト参照。	複数OK。
39	再販	1、再販商品(デフォルト) 2、非再販商品	新刊発売時点での再販商品か否かの区別。再販・非再販の切替時の日付や時限再販の日付も記入。詳細は50「その他出版社記入欄」で。
40	販売条件	1、委託(デフォルト) 2、買切	新刊発売時点での委託か否かの区別。詳細は50「その他出版社記入欄」で。
41	対象読者	児童書の場合記入(週速報分類に高校を追加)。	
42	成人指定	成人指定の有無 1、有り 2、無し(デフォルト)	
43	内容紹介1	取次広報誌(書店向)用 全角62字以内。	予約活動のためには、できるかぎり記入のこと。
44	内容紹介2	読者用及び仕入参考用のより詳しい紹介。そのままサイトアップできる説明とする。1300字以内。	62文字を超えるものは最初から「内容紹介2」に記入。ホームページのURL、またセミナー等への勧誘の文言は不可。
51	内容紹介3	「これから出る本」用の以下の項目を記入。 「著者表示」(全角17文字以内)、 「分類」(半角数字4桁)、 「読者対象」(半角数字2桁)、 「内容紹介」(全角63文字以内)、 「これ本掲載時期」(半角数字8桁)	それぞれの項目の文字列を、区切り文字(半角のセミコロン(;))で結合して1つの文字列として記入(区切り文字を含み、最大半角178文字相当)。 日本書籍出版協会会員社専用。
45	目次	文字数制限無し	
46	キーワード	キーワードは半角セミコロン(; )で区切る。250文字以内	本の内容に合った、検索で引っかけりそうな文言の他、連載されていた紙誌名などの、読者が本を探す時の周辺情報も有効。
47	付録の有無	1、有り 2、無し(デフォルト)	付録がある場合は48でその内容を記述。
48	付録の内容	200字以内	
49	画像	ISBN.jpg ISBN.in01.jpg ISBN.in02.jpg 3点まで可。 サイズは500px~1200px、jpg方式、カラーモードはRGBモードとする。解像度は任意(72dpi以上推奨)。	書影でなくイメージ画像でも可。ただしアダルト画像は不可。
50	その他出版社記入欄	内容紹介に入れられない、書店の仕入れに役立つ情報。読者には原則非公開情報。文字数制限無し。	広告・パブ情報、初版予定数、関連書情報、「再版」「販売条件」項目の「その他」詳細情報 等。

## ○JPO「出版情報登録センター 新しい「入力項目表」 【「データ仕様 第3版」準拠】20151228版

【続き】

ヘッダー			
1	更新日時	yyyyMMddThhmm 送信時自動	dとhの間にTimeを意味する「T」を入れる。
2	付番コード	4ケタ	入会時にJPOが付番するコード。
3	送信元会社名	一次送信の多くは発行発売出版社名	
4	部署		
5	送信担当者		
6	電話	99-9999-9999	市外局番よりハイフン有り。IP電話050対応。
7	FAX	99-9999-9999	市外局番よりハイフン有り。IP電話050対応。
8	E-mail		

## 仕様の変更に伴う

### 「出版情報」登録・利用に関する運用方針

- ◆ 「再販商品／非再販商品」の明示や「税率」の表示など、「データ仕様」の変更に伴う新しい「出版情報」の登録・利用についての運用開始の時期やルールの詳細については、今後の調整となります。
- ◆ 「出版情報登録センター」としましては、いずれ対応が必要となる可能性のあるデータについての枠組みを、利用社の皆様のご協力のもとで事前に準備しておくため、まず「データ仕様」に対する技術的な見直しを実施させていただきます。

# 新しい「データ仕様」、「入力項目表」の導入スケジュール

日 程	対 応
平成28年(2016年)	
01/05(火)	<p><b>新しい「データ仕様」、「入力項目表」の公開</b>            JPO「出版情報登録センター データ仕様第3版」            20151228版            JPO「出版情報登録センター 入力項目表            【「データ仕様 第3版」準拠】20151228版」</p>
01/15(金)	<b>「データ仕様」変更説明会</b>
2月後半	テスト環境でのJPRO利用社による <b>テスト・検証開始</b>
3月中旬 事務局案 <b>03/17(木)</b> 実施を予定	<p><b>新仕様に切替</b>            (基本的に新旧データ仕様による並行稼働は行わない)</p>

## 関係資料の入手先

新しい「データ仕様」と「入力項目表」は、JPROポータルサイトの「資料一覧」

<https://jpro.jpo.or.jp/handout/list>

のリストから、「ファイル名」

出版情報登録センター「データ仕様第3版」20151228.xlsx

出版情報登録センター入力項表【データ仕様第3版準拠】201151228.xlsx

を選択していただくことで、ダウンロードできます。

# 詳細説明

## ～データ仕様の変更

---



## データ仕様の変更

### ①「著者なし」時の<NoContributor>の使用 【変更理由】

○「著者名」は必須項目

○<Contributor>を用いて明示的に「著者なし」を示そうとすると、「著者名」を「出版社名」で代用したり、空白文字を入れたり、「著者なし」としてしまいう可能性がある。

○そこで、空タグの形で<NoContributor/>を記載することで、<Contributor>に代わり明示的に「著者なし」を示すこととした。

※「データ仕様 第2版」でも、<NoContributor/> は定義されていたが、明確な利用をうたっていなかった。

## データ仕様の変更

### ①「著者なし」時の<NoContributor>の使用 【変更点】

<NoContributor>に関する記載を以下のように変更した。

「備考」

【現行】

※「データ仕様1.0.1」では、必須項目として[1…\*]となっていたが、アンソロジーやカレンダーなどで著者情報なしの商品の場合は、<Contributor>コンポジットではなく、<NoContributor>の空タグ形式の<NoContributor/>を使うこととし、「繰返し」もONIX仕様通り「0…n」とした。

【変更後】

※アンソロジーやカレンダーなど商品に明確に著者が記載されておらず、明示的に「著者なし」(Group P. 7. の要素を一切記述しない)とする場合は、<Contributor>の代わりに<NoContributor>の空タグ形式の<NoContributor/>を使用する。

## データ仕様の変更

### ①「著者なし」時の<NoContributor>の使用

#### 【例】

```
<Product>  
  Record metadata P.1  
  Product numbers P.2  
  <DescriptiveDetail>  Block 1 説明項目  
    P.3 Product description  
    P.4 Product parts  
    P.5 Collection  
    P.6 Product title detail  
    <NoContributor/> 【「著者なし」の場合】  
  </DescriptiveDetail>  
</Product>
```

## データ仕様の変更

### ②「著者略歴」(BiographicalNote)の表記方法の変更 【変更理由】

- 「著者略歴」を記入する<BiographicalNote>の内容は、バリエーションに富み文字数も多く、改行も多く利用される。
- そこでCDATAセクションで囲み、<TextContent>（「内容紹介」等）と同様にHTML仕様で記入できるようにした（ただし当面利用可能なタグは限定）。

## データ仕様の変更

### ②「著者略歴」(BiographicalNote)の表記方法の変更

#### 【変更点】

<Contributor>下の<BiographicalNote>に関する記載を以下のように変更した。

「入力規則」

【現行】著者略歴を記述する。電話番号など変更される可能性があるものは入力しない。

【変更】

(1) <BiographicalNote>のtextformat属性を、List 34のコード 02 HTML に固定する。

(2) 記入する内容全体をCDATAセクション <![CDATA[ … ]]> で囲む。

(3) <br>タグと<p>タグのみを利用可能とする。

「備考」

【現行】※XHTML形式での入力可。

【変更】※CDATAセクションで囲み、<TextContent>(「内容紹介」等)と同様にHTML仕様で記入する。

## データ仕様の変更

### ②「著者略歴」(BiographicalNote)の表記方法の変更

#### 【例】

```

<Contributor> P.7 Authership
  <SequenceNumber>1</SequenceNumber>
  <ContributorRole>A01</ContributorRole> 【著・文・その他】
  <PersonName collationkey="キンカン タロウ">近刊 太郎</PersonName>
  <BiographicalNote textformat="02"><![CDATA[近刊大卒。平成22年より、近刊情報
センター名誉館長。]]></BiographicalNote>
</Contributor>
<Contributor>
  <SequenceNumber>2</SequenceNumber>
  <ContributorRole>B01</ContributorRole> 【編集】※複数の著者区分
  <ContributorRole>A12</ContributorRole> 【イラスト】
  <PersonName collationkey="ショエイ ヨシコ">書影 美子</PersonName>
  <BiographicalNote textformat="02"><![CDATA[近刊情報センター美術スタッフ。近刊
美術大卒。平成22年より現職。]]></BiographicalNote>
</Contributor>
</DescriptiveDetail>
</Product>

```

## データ仕様の変更

### ③取得しているすべての「ISBN出版者記号」と「取引コード」の記載

#### 【変更理由】

○「発売元出版社」の「ISBN出版者記号」が記入されていれば、「発行元出版社」の「ISBN出版者記号」が未取得で記入されていない場合も、許容することとした。

○出版社で取得したすべての「ISBN出版者記号」を入力できるようにした。

○「発売元出版社」の「取引コード」が記入されていれば、「発行元出版社」の「取引コード」が未取得で記入されていない場合も許容することとした。

## データ仕様の変更

### ③取得しているすべての「ISBN出版者記号」と「取引コード」の記載 「発行元出版社」〈Imprint〉 【変更点】

〈Imprint〉の〈ImprintIdentifier〉に関する記載を以下のように変更した。

「繰返し」【現行】1…2 => 【変更】0…n（ONIX仕様通りに戻す）

「入力規則」

【現行】「ISBN出版者記号」の入力を必須とし、「取引コード」があれば繰返して記入する。

【変更】取得しているすべての「ISBN出版者記号」と「取引コード」を繰返して記入する。

「備考」

【現行】〈ImprintName〉の記載がない場合には必須。

【変更】〈ImprintName〉の記載がない場合、いずれかのコードの入力は必須。また〈Publisher〉（「発売元出版社」）の情報に、「取引コード」および「ISBN出版者記号」の記述がない場合は、いずれのコードの記入も必須となる。

## データ仕様の変更

### ③取得しているすべての「ISBN出版者記号」と 「取引コード」の記載 「発行元出版社」<Imprint>

【例】 M,N,Dは数字

```

<PublishingDetail> 【出版項目】
  <Imprint> (1)【発行元出版社】
    <ImprintIdentifier>
      <ImprintIDType>19</ImprintIDType> 【出版者記号】
      <IDValue>NNNNNN</IDValue>
    </ImprintIdentifier>
    <ImprintIdentifier>
      <ImprintIDType>19</ImprintIDType> 【出版者記号】(複次記号)
      <IDValue>MMMMMM</IDValue>
    </ImprintIdentifier>
    <ImprintIdentifier>
      <ImprintIDType>24</ImprintIDType> 【取引コード】
      <IDValue>DDDD</IDValue>
    </ImprintIdentifier>
    <ImprintName>〇〇〇〇〇〇〇〇出版</ImprintName> 【発行元出版社名】
  </Imprint>
  .
  .
</PublishingDetail>

```

## データ仕様の変更

### ③取得しているすべての「ISBN出版者記号」と「取引コード」の記載 「発売元出版社」〈Publisher〉 【変更点】

〈Publisher〉の〈Publisher Identifier〉に関する記載を以下のように変更した。  
「繰返し」【現行】1…2 => 【変更】0…n（ONIX仕様通りに戻す）

「入力規則」

【現行】「ISBN出版者記号」の入力を必須とし、「取引コード」があれば繰返して記入する。

【変更】取得しているすべての「ISBN出版者記号」と、「取引コード」を繰返して記入する。

「備考」

【現行】（記載なし。）

【変更】〈PublisherName〉の記載がない場合、いずれかのコードの入力は必須。

## データ仕様の変更

### ③取得しているすべての「ISBN出版者記号」と「取引コード」の記載 「発売元出版社」<Publisher>

【例】 M,N,Dは数字

```

<Publisher> 【発売元出版社】
  <PublishingRole>01</PublishingRole>
  <PublisherIdentifier>
    <PublisherIDType>19</PublisherIDType> 【出版者記号】
    <IDValue>NNNNNN</IDValue>
  </PublisherIdentifier>
  <PublisherIdentifier>
    <PublisherIDType>19</PublisherIDType> 【出版者記号】(複次記号)
    <IDValue>MMMMMM</IDValue>
  </PublisherIdentifier>
  <PublisherIdentifier>
    <PublisherIDType>24</PublisherIDType> 【取引コード】
    <IDValue>DDDD</IDValue>
  </PublisherIdentifier>
  <PublisherName>△△△△△△△△△△出版</PublisherName> 【発売元出版社名】
</Publisher>
.
.
</PublishingDetail>

```

## データ仕様の変更

### ④「これから出る本」用項目の追加

#### 【変更理由】

- 日本書籍出版協会「これから出る本」のための項目を記載できるようにした。

## データ仕様の変更

### ④「これから出る本」用項目の追加

#### 【変更点】

<TextContent>の記載を以下のように変更した。

「繰返し」【現行】0…4 => 【変更】0…5

「入力項目」

【現行】

43. 内容紹介1、44. 内容紹介2、45. 目次、50. 出版社記入欄

【変更】

43. 内容紹介1、44. 内容紹介2、51. 内容紹介3、45. 目次、50. 出版社記入欄

「入力規則」

【現行】<TextType>にコードでタイプを指定することで、<Text>に「内容紹介1」、「内容紹介2」、「目次」、「その他出版社記入欄」の内容を記述する。

【変更】<TextType>にコードでタイプを指定することで、<Text>に「内容紹介1」（取次広報誌（書店向）用）、「内容紹介2」（読者／仕入参考用）、「内容紹介3」（日本書籍出版協会「これから出る本」用）、「目次」、「その他出版社記入欄」の内容を記入する。

## データ仕様の変更

### ④「これから出る本」用項目の追加

#### 【変更点】

<TextContent>下の<TextType>の記載を以下のように変更した。

「入力規則」

【現行】以下のコードのいずれかを指定する。

02 : Short description 【内容紹介1(取次広報誌(書店向)用)】

03 : Description 【内容紹介2(読者／仕入参考用)】

04 : Table of contents 【目次】

11 : Feature 【その他出版社記入欄】

【変更】以下のコードのいずれかを指定する。

02 : Short description 【内容紹介1(取次広報誌(書店向)用)】

03 : Description 【内容紹介2(読者／仕入参考用)】

23 : Forthcoming book information at Japan Book Publishers Association  
【内容紹介3(日本書籍出版協会「これから出る本」用)】

04 : Table of contents 【目次】

11 : Feature 【その他出版社記入欄】

## データ仕様の変更

### ④「これから出る本」用項目の追加

#### 【変更点】

<TextContent>下の<ContentAudience>の記載を以下のように変更した。

「入力規則」

【現行】それぞれの<TextContent>ごとに意図されている読者を、以下のコードで指定する。

00 : Unrestricted 【非限定(読者を含む)】

→「内容紹介1」、「内容紹介2」、「目次」の場合に指定。

【変更】それぞれの<TextContent>ごとに意図されている読者を、以下のコードで指定する。

00 : Unrestricted 【非限定(読者を含む)】

→「内容紹介1」、「内容紹介2」、「内容紹介3」、「目次」の場合に指定。

## データ仕様の変更

### ④「これから出る本」用項目の追加

#### 【変更点】

<TextContent>下の<Text>の記載を以下のように変更した。

「文字数 桁数」

【現行】内容紹介1 62文字以内、内容紹介2 1300文字以内、目次 文字制限なし、出版社記入欄 文字制限なし

【変更】内容紹介1 (62文字以内)、内容紹介2 (1300文字以内)、内容紹介3 (最大半角178文字相当)、目次 (文字制限なし)、出版社記入欄 (文字制限なし)

## データ仕様の変更

### ④「これから出る本」用項目の追加 【変更点】

<TextContent>下の<Text>の記載を以下のように変更した。

#### 「入力規則」

【現行】(4)それぞれの<Text>のタイプごとに、以下の文字数制限に従う。

内容紹介1            全角62文字以内  
内容紹介2            1300文字以内  
目次                    文字数制限なし  
その他出版社記入欄 文字数制限なし

#### 【変更】

(4)それぞれの<Text>のタイプごとに、以下の文字数制限に従う。

内容紹介1            全角62文字以内  
内容紹介2            1300文字以内  
内容紹介3            最大半角178文字相当  
目次                    文字数制限なし  
その他出版社記入欄 文字数制限なし

(5)「これから出る本」用項目については、<TextType>を

23 Forthcoming book information at Japan Book Publishers Association (EDItEUR申請中)

に指定し、<Text>に「内容紹介3」として、以下の項目、

- 1)「著者表示」(全角17文字以内)、
- 2)「分類」(半角数字4桁)、
- 3)「読者対象」(半角数字2桁)、
- 4)「内容紹介」(全角63文字以内)、
- 5)「これ本掲載時期」(半角数字8桁)

を、半角セミコロン(;)で区切って1つの文字列として記入する(区切り文字を含み、最大半角178文字相当)。

## データ仕様の変更

### ④「これから出る本」用項目の追加

#### 【例】

```
<CollateralDetail>
  <TextContent>
    <TextType>02</TextType> 【内容紹介1】
    <ContentAudience>00</ContentAudience>
    <Text textformat="02"><![CDATA[ここに全角62文字以内で「内容紹介1」の内容を記述する。]]></Text>
  </TextContent>
  <TextContent>
    <TextType>03</TextType> 【内容紹介2】
    <ContentAudience>00</ContentAudience>
    <Text textformat="02"><![CDATA[ここに1300文字以内で「内容紹介2」の内容を記述する。]]></Text>
  </TextContent>
  <TextContent>
    <TextType>23</TextType> 【内容紹介3】
    <ContentAudience>00</ContentAudience>
    <Text textformat="02"><![CDATA[ここに「これから出る本」用の項目"著者表示;分類;読者対象;内容紹介;これ本掲載時期"(最大半角178文字相当)の文字列を記入する。]]></Text>
  </TextContent>
  <TextContent>
    <TextType>04</TextType> 【目次】
    <ContentAudience>00</ContentAudience>
    <Text textformat="02"><![CDATA[ここに目次の内容を記述する。]]></Text>
  </TextContent>
  <TextContent>
    <TextType>11</TextType> 【その他出版社記入欄】
    <ContentAudience>01</ContentAudience>
    <Text textformat="02"><![CDATA[ここに「その他出版社記入欄」の内容を記述する。]]></Text>
  </TextContent>
```

# データ仕様の変更

## ⑤表記の訂正

NO.	変更内容	変更理由
67	<CollateralDetail> の「ONIX仕様」の「繰返し」を、0…nから0…1に修正した。	記載ミス。
68	<ContentDetail> の「ONIX仕様」の「繰返し」を、0…nから0…1に修正した。	記載ミス。
69	<PublishingDetail> の「ONIX仕様」の「繰返し」を、0…nから0…1に修正した。	記載ミス。
70	「ISBN出版社コード」や「ISBN出版社記号」の表記を、「ISBN出版者記号」に修正した。	記載ミス。
71	「データ仕様」中の「近刊情報センター」の表記を「出版情報登録センター」または「JPRO」に変更した。	センター移行に伴う表記の統一。
72	<Contributor>下<SequenceNumber> (P. 7. 1)に関する「備考」の記載を以下のように変更した。 【 <b>現行</b> 】※<Contributor>コンポジットには、<SequenceNumber>を設定することが強く推奨されている。 【 <b>変更</b> 】※データ上の<Contributor>要素の並び順は、「著者名」の表記順には必ずしも反映されないため、「著者名」の順序を重視する必要がある場合には、<SequenceNumber>で明示的に順序を示すことが推奨されている。	「著者名」の表記順序を明示的に受け手に伝える手段を明記した。
73	<Subject>下<SubjectHeadingText> (P. 12. 6)に関する「備考」の記載を以下のように変更した。 【 <b>現行</b> 】※「キーワード」の全体の最大長はONIX 2. 1. 3の100文字から、ONIX 3. 0. 1では250文字まで拡張された。 【 <b>変更</b> 】※「キーワード」の全体の最大長はONIX 2. 1. 3の100文字から、ONIX 3. 0. 1では250文字まで拡張された。区切り記号(半角セミコロン(;))は、最大250文字に含まれることに注意。	「キーワード」の最大文字数に区切り記号が含まれることを明記した。

## データ仕様の変更～センターとしての今後の対応のために

### ⑥「再販・非再販」項目の明記と「時限再販」項目の追加 【変更理由】

- 再販・非再販についての正しい記載を容易かつ明確に行えるようにする。
- 発刊時点(情報登録時点)での、時限再販に関する情報を入力することができるようにする。

## データ仕様の変更～センターとしての今後の対応のために

### ⑥「再販・非再販」項目の明記と「時限再販」項目の追加 【変更点】

<Price>に関する記載を以下のように変更した。

「繰返し」【現行】1…2 => 【変更】1…3

「入力規制」

【現行】価格(単価)について記述する。

【変更】①発刊時点(書誌情報登録時点)での再販商品／非再販商品の指定、一定期間経過後の再販商品=>非再販商品切替の指定、③特価本体価格の指定、のそれぞれの商品指定(最大3)と本体価を記入する。

「備考」

【現行】記載なし。

【変更】再販・非再販についての発刊時点(書誌情報登録時点)での情報を明確に記載する。また、一定期間経過後の再販商品=>非再販商品切替(時限再販)が予定されている場合、その情報を記入する。

## データ仕様の変更～センターとしての今後の対応のために

### ⑥「再販・非再販」項目の明記と「時限再販」項目の追加

#### 【変更点】

#### 「入力規制」

<Price>下の<PriceType>に関する記載を以下のように変更した。

【現行】以下のように、発売時点で対象商品が「再販商品」であれば 03、「非再販商品」であれば 01 を記入する。

03 : Fixed retail price excluding tax【本体価格(再販)】

01 : RRP excluding tax【本体価格(非再販)】

また「特価」がある場合には、<Price>を繰り返し、<PriceType>に

11 : Special sale RRP excluding tax【本体特価価格(非再販)】

13 : Special sale fixed retail price excluding tax【特価本体価(再販)】のいずれかを記入する。

【変更】以下のように、発刊時点(書誌情報登録時点)、または切替時点で対象商品が「再販商品」であれば 03、「非再販商品」であれば 01 を記入する。

03 : Fixed retail price excluding tax【再販商品(本体価格)】

01 : RRP excluding tax【非再販商品(本体価格、希望小売価格)】

更に「特価」指定がある場合には、

13 : Special sale fixed retail price excluding tax【再販商品(特価本体価格)】

11 : Special sale RRP excluding tax【非再販商品(特価本体価格、希望小売価格)】

のいずれかを記入する。

## データ仕様の変更～センターとしての今後の対応のために

### ⑥「再販・非再販」項目の明記と「時限再販」項目の追加 【変更点】

#### 「備考」

〈Price〉下の〈PriceType〉に関する記載を以下のように変更した。

#### 【現行】

※「再販商品」かどうかを〈PriceType〉に記入される本体価格のコードで区別する。

※デフォルトは 03（「再販商品」）指定とする。

※「入力項目表」では、「1、再販商品（デフォルト） 2、非再販」となっているので注意。

※コードの前ゼロに注意。

#### 【変更】

※新刊時に、一定の年月経過後は価格拘束を解く旨の予定を表記できるようにする。

※必要に応じて〈Price〉要素（コンポジット）を繰り返し、子要素の〈PriceType〉へのコード入力で、①発刊時点（書誌情報登録時点）、②確定している今後の再販⇒非再販の切替予定、③特価本体価格、を区別して記入していく。

※但し、出版社が行う期間限定・販売箇所を限定した時限再販は特例として扱わないこととし、非再販商品情報を入力する必要はない。

※〈PriceType〉は、03（「再販商品」）をデフォルト指定とする。

※「入力項目表」では、区分（番号）の取扱いが、「1、再販商品（デフォルト） 2、非再販商品」となっているので、該当CodeList（List 58）の対象コードと間違わないよう注意。

※コードの前ゼロに注意。

データ仕様の変更～センターとしての今後の対応のために

## ⑥「再販・非再販」項目の明記と「時限再販」項目の追加 【変更点】

<Price>下の<PriceDate>に関する記載を以下のように変更した。

【現行】32. 特価期限

【変更】32. 特価期限 (39. 再販=>非再販切替日付)

## データ仕様の変更～センターとしての今後の対応のために

### ⑥「再販・非再販」項目の明記と「時限再販」項目の追加

#### 【変更点】

<Price>の子要素<PriceDate>下の、<PriceDateRole>に関する記載を以下のように変更した。

#### 「入力規制」

##### 【現行】

特価本体価格がある場合、<PriceDate>を繰り返して、以下のコードを指定する。

14 : From date 【開始日】(特価開始日)

15 : Until date 【期限】(特価期限)

##### 【変更】

<PriceDate>に以下のコードを指定して繰り返すことで、再販⇒非再販の切替時、または「特価本体価格」指定時の「開始日」と「終了日」(期限)を記入する。

14 : From date 【開始日】

15 : Until date 【終了日】(期限)

## データ仕様の変更～センターとしての今後の対応のために

### ⑥「再販・非再販」項目の明記と「時限再販」項目の追加 【変更点】

<Price>の子要素<PriceDate>下の、<PriceDateRole>に関する記載を以下のように変更した。

「備考」

【現行】記載なし。

【変更】

※ 14 : From date 【開始日】は、「時限再販」の「開始日」や「特価本体価格」指定の「開始日」として、予め計画されている日付を記載。

※ 15 : Until date 【終了日】(期限)は、「再販商品」の価格拘束を解く日(「非再販商品」とする日)や「時限再販」の「終了日」、または「特価本体価格」指定時の「終了日」として、予め計画されている日付を記入。

データ仕様の変更～センターとしての今後の対応のために

## ⑥「再販・非再販」項目の明記と「時限再販」項目の追加

【例】 <Tax>は省略。

(1) 近刊／既刊で再販商品

```
<ProductSupply>  
  <SupplyDetail>  
    <Price>  
      <PriceType>03</PriceType>  
      <PriceAmount>1900</PriceAmount>  
      <CurrencyCode>JPY</CurrencyCode>  
    </Price>  
  </SupplyDetail>  
</ProductSupply>
```

(2) 近刊／既刊で非再販商品

```
<ProductSupply>  
  <SupplyDetail>  
    <Price>  
      <PriceType>01</PriceType>  
      <PriceAmount>1900</PriceAmount>  
      <CurrencyCode>JPY</CurrencyCode>  
    </Price>  
  </SupplyDetail>  
</ProductSupply>
```

データ仕様の変更～センターとしての今後の対応のために

## ⑥「再販・非再販」項目の明記と「時限再販」項目の追加

【例】 <Tax>は省略。

(3) 近刊で一定期間後に非再販商品とする場合

```
<ProductSupply>
```

```
<SupplyDetail>
```

```
<Price>
```

```
<PriceType>03</PriceType> 【再販商品として「近刊情報」を登録】
```

```
<PriceAmount>1900</PriceAmount>
```

```
<CurrencyCode>JPY</CurrencyCode>
```

```
</Price>
```

```
<Price>
```

```
<PriceType>01</PriceType>【一定期間経過後から価格拘束を解く(非再販商品)】
```

```
<PriceAmount>1900</PriceAmount>
```

```
<CurrencyCode>JPY</CurrencyCode>
```

```
<PriceDate>
```

```
<PriceDateRole>14</PriceDateRole>
```

```
<Date dateformat="00">20151113</Date> (開始日のみを記載)
```

```
</PriceDate>
```

```
</Price>
```

```
</SupplyDetail>
```

```
</ProductSupply>
```

## データ仕様の変更～センターとしての今後の対応のために

### ⑦「税の種類」と「税率」項目の追加

#### 【変更理由】

○対象商品ごとの「税率」の記載を可能とし、将来的な「軽減税率」にも対応できるようにした。

## データ仕様の変更～センターとしての今後の対応のために

### ⑦「税の種類」と「税率」項目の追加

#### 【変更点】

〈Price〉下に新たに〈Tax〉コンポジットを追加し、子要素として 〈TaxRateCode〉: 税率のタイプ、〈TaxRatePercent〉: 税率をそれぞれ設定した。

## データ仕様の変更～センターとしての今後の対応のために

### ⑦「税の種類」と「税率」項目の追加

#### 【例】

```
<Price>
  <PriceType>03</PriceType> 【再販商品】(発刊時点(書誌情報登録時点))
  <PriceAmount>1900</PriceAmount> 【本体価格】
  <Tax> 【税率】
    <TaxRateCode>S</TaxRateCode>
    <TaxRatePercent>8</TaxRatePercent>
  </Tax>
  <CurrencyCode>JPY</CurrencyCode>
</Price>
<Price> 【特価本体価格】(2012/03/23～2012/03/31)
  <PriceType>13</PriceType>
  <PriceAmount>1500</PriceAmount>
  <Tax> 【税率】
    <TaxRateCode>S</TaxRateCode>
    <TaxRatePercent>8</TaxRatePercent>
  </Tax>
  <CurrencyCode>JPY</CurrencyCode>
  <PriceDate>
    <PriceDateRole>14</PriceDateRole>
    <Date dateformat=""00"">20120323</Date>
  </PriceDate>
  <PriceDate>
    <PriceDateRole>15</PriceDateRole>
    <Date dateformat=""00"">20120331</Date>
  </PriceDate>
</Price>
```

データ仕様の変更～センターとしての今後の対応のために

## ⑧「出版社による内容確定フラグ」項目の追加 【変更理由】

○出版社による内容確定（「出版社内容確定フラグ」）を表すことができるようにした。

## データ仕様の変更～センターとしての今後の対応のために

### ⑧「出版社による内容確定フラグ」項目の追加

#### 【変更点】

<NotificationType>に関する記載を以下のように変更した。

「入力項目」

【現行】（削除フラグ）      **【変更】（削除フラグ）（出版社内容確定フラグ）**

「入力規則」

【現行】

通常は、コードを

03 : Notification confirmed on publication **【通常】**

に固定する。

このProductを削除する場合は、コード

05 : Delete **【削除】**

を記入して、削除事由を<DeletionText>に記入する。

**【変更】**

出版社の判断により本書誌情報の内容が確定している場合には、

03 : Notification confirmed on publication **【内容確定】**

を記入し、まだ出版社側で本書誌情報の内容が確定していない場合には、

02 : Advance notification (confirmed)      **【確定前】**

を記入する。

また、この商品情報を削除する場合には、

05 : Delete **【削除】**

を記入し、削除事由を<DeletionText>に記入してから再度情報をセンターに送信（登録）した後、「重要事項連絡」で「受け手」にその旨通知する。

## データ仕様の変更～センターとしての今後の対応のために

### ⑧「出版社による内容確定フラグ」項目の追加 【変更点】

<NotificationType>に関する記載を以下のように変更した。

「備考」

【現行】

※ver2.1.3で設定されていた<DeletionCode>は、使用しなくなった。

※コードの前ゼロに注意。

【変更】

※【注意】<NotificationType>は、これまで03:固定とし、取り扱う情報は確定されていることを前提としていたが、新たに「出版社内容確定フラグ」のルールが導入されることになり、情報が確定されていない場合は<NotificationType>に02を記入する。

※コードの前ゼロに注意。

## データ仕様の変更～センターとしての今後の対応のために

### ⑧「出版社による内容確定フラグ」項目の追加

#### 【例】

<Product>

<RecordReference>9784062166409</RecordReference> Group P.1

<NotificationType>02</NotificationType> 【確定前】

<Product>

<RecordReference>9784062166409</RecordReference> Group P.1

<NotificationType>03</NotificationType> 【確定後】

## 【参考】JPRO「出版情報」への国立国会図書館 「全国書誌番号」の追加

国立国会図書館への該当書籍の納本確定時に、同館が該当書籍の「全国書誌」収録用に付与した「全国書誌番号」をJPROが取得し、記載する

※既刊情報のみ。JPROが記載し、出版社では入力しない。

# 質疑応答

ご清聴、  
ありがとうございました。